
無限の剣制

鏡花水月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無限の剣制

【著者名】

鏡花水月

N2438N

【あらすじ】

Fateの世界観みたいなものを詩にしてみました。

(前書き)

Fateの映画が出る前に書いた物です。
世界観を出せればいいと思ったのですが、残念な結果になりました。

君との出会いは偶然ではない
運命とまではいかないが
きっと歴史がそうさせたのだろう
道標だったのだろう

歴史に刻まれた導

コレは世界の願いだったのだろう

私は君との約束のために
君と同じ歩幅で歩むために
アノ丘へ

兵達の夢幻想が

願いが

夢が

希望が

埋まりし

約束された舞台へ向かう

私がこの丘へ来ることは運命だったのだろう
決められた歴史だったのだろう
それがセカイの願いだったのだろう

だが私は敢えて抗おう

定められし歴史に、運命に
背を向けよう

私は歴史に組み込まれたりはしない
己が運命をセカイに翻弄されたりはしない

私は運命に、歴史に抗う
決められたレールを外れ
新しきレールを切り開く

剣が折れようとも
心は折れず
盾が碎けようとも
志は碎けず
鎧が朽ちようとも
夢は朽ち果てず
我心は一振りの剣に

全てを超えて君に愛にいく
君のぬくもりを
やさしさを感じたい
笑顔で君と歩みたい
待つていて欲しい
俺が帰るまで家を
家族を守つていて欲しい

俺はお前だけの剣士となる
例えセカイを裏切つてでもお前を守る
お前だけの正義の味方となる

凛お前だけを愛している

少年は愛する女性のために

セカイの敵となる

F a t e / U n l i m i t e d B r a d e w o r k s

戦場に鳴り響く

剣戟のラブソング

(後書き)

適当ですがよろしくお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2438n/>

無限の剣制

2010年10月15日21時47分発行